令和８年11月教育委員会会議

と　き　令和８年11月９日（月）　１４：００～
ところ　委員会議室（府庁別館６階）

○　議　　事

議題１	・知事からの意見聴取に対する回答の承認について
議題２	・大阪府立学校条例及び府立高等学校再編整備計画に基づく令和８年度実施対象校並びに大阪市立の高等学校等移管計画における再編整備対象校（工業系高校）の募集停止時期について
議題３	・令和９年度大阪府公立高等学校等の募集人員について
議題４	・令和９年度大阪府立知的障がい高等支援学校職業学科（本校）及び大阪府立高等学校に設置する共生推進教室の募集人員について

議題１（委員会決裁事項（規則第３条第６号））

知事からの意見聴取に対する回答の承認について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 29 条の規定により知事から意見を求められた令和８年９月定例府議会に提出された次の議案について、大阪府教育委員会事務決裁規則第５条に基づき教育長が代決により異議がない旨を回答した。

この代決を、大阪府教育委員会事務決裁規則第７条第２項に基づき承認する。

令和８年 11 月９日

大阪府教育委員会

○事件議決案

１　行政文書の非公開決定等に係る損害賠償等請求事件の上告及び上告受理の申立ての件

＜参考＞

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育委員会の意見聴取）

第 29 条　地方公共団体の長は、歳入歳出予算のうち教育に関する事務に係る部分その他特に教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件の議案を作成する場合においては、教育委員会の意見をきかなければならない。

○大阪府教育委員会事務決裁規則

（事務の専決及び代決）

第５条　第３条各号に規定する事項について緊急やむを得ないときは、教育長がその事項を代決することができる。

（専決した事項等の報告）

第７条　　（略）

２　第５条の規定により教育長が代決したときは、速やかに委員会の会議において報告し、その承認を受けるものとする。

○事件議決案

番号	件　　名	概　　要
1	行政文書の非公開決定等に係る損害賠償等請求事件の上告及び上告受理の申立ての件	行政文書の非公開決定等を行うにあたり、慎重に検討判断すべき職務上の注意義務を怠ったとする損害賠償等請求事件の判決を不服として、上告及び上告受理申立てを行うもの。

議題２（委員会決裁事項（規則第３条第１号））

大阪府立学校条例及び府立高等学校再編整備計画に基づく令和８年度実施対象校並びに大阪市立の高等学校等移管計画における再編整備対象校（工業系高校）の募集停止時期について

標記について、別紙のとおり決定する。

令和８年 11 月９日

大阪府教育委員会

大阪府立学校条例及び府立高等学校再編整備計画に基づく令和８年度実施対象校並びに大阪市立の高等学校等移管計画における再編整備対象校（工業系高校）の募集停止時期について

令和８年 11 月９日

大阪府教育委員会

１　大阪府立学校条例及び府立高等学校再編整備計画に基づく令和８年度実施対象校

（１）令和８年度の方針

令和８年度は、商業系高校の統合整備による新校設置及び国際関係学科設置高校における改編に着手する。

（２）統合整備により再編整備する学校

対象校 （所在地）	今後の方針
淀（よど）商業高校 （大阪市西淀川区）	・３校を統合整備し、新たな商業系高校１校を設置する。 ・新校の開校時期及び学校地については、今後検討を進める。 ・統合整備による各校の募集停止時期については、新校の開校時期等を踏まえ、入学者の募集を停止する前々年度中に公表する。
鶴見（つるみ）商業高校 （大阪市鶴見区）	
住吉（すみよし）商業高校 （大阪市住之江区）	

（３）国際関係学科設置高校における改編

①　国際文化科及び総合科学科への改編

学科	対象校	所在地	改編時期
国際文化科・総合科学科	東（ひがし）高校 （普通科・英語科・理数科併置）	大阪市都島区	令和10年度 入学者から

②　普通科への改編

学科	対象校	所在地	改編時期
普通科	いちりつ高校 （普通科・英語科・理数科併置）	枚方市	令和10年度 入学者から

２　大阪市立の高等学校等移管計画における再編整備対象校（東淀工業高校・泉尾工業高校）の募集停止時期

対象校 （所在地）	募集停止時期
東淀（ひがしよど）工業高校 （大阪市淀川区）	令和10年度 入学者募集時
泉尾（いずお）工業高校 （大阪市大正区）	令和10年度 入学者募集時

（参考）

・市立高校移管計画における工業系高校（東淀工業高校・泉尾工業高校・生野工業高校）の統合整備については、新工業系高校「ＦＩＯＲＡ（フィオーラ）高等学校（仮称）」を令和10年度に開校予定。（令和８年６月教育委員会会議）

・生野工業高校（大阪市生野区）については、令和７年度入学者募集時より募集停止。
（令和５年11月教育委員会会議）

１―（３）　令和８年度実施対象校（案）「国際関係学科設置高校における改編」の概要について

１．基本的な考え方

「府立高等学校再編整備計画（令和５年度から令和９年度）」及び「府立高校改革グランドデザイン（令和７年３月）」に掲げた府立高校改革の具体的方策を示した「府立高校改革アクションプラン（令和７年11月）」に基づき、令和10年度入学生より、普通科及び専門学科（英語科・理数科）設置校における学科改編を行い、これまでの取組を発展・深化させる。

２．対象校における教育活動（予定）

①東高校

令和10年度入学生から国際文化科・総合科学科への改編を行い、両学科の特色を表す学校設定教科・科目を開設する。英語及びその他の外国語や自然科学に関する探究的な学習等を通じて、国際的視野に基づくコミュニケーション能力及びプレゼンテーション能力の育成並びに現代社会や文化に関する理解の深化を図るとともに、数理的思考の基礎力及び科学的感性を育成するなど、専門学科における特色ある取組を推進する。

②いちりつ高校

令和10年度入学生から普通科への改編を行い、高校で学ぶべき基礎的・汎用的な知識・技能を育成する取組の充実を図るとともに、これまで英語科や理数科において実践してきた、高い英語運用能力や理数に関する素養を育成する取組の成果を生かし、普通科における特色ある教育活動を推進する。また、理数に関する新たなカリキュラムの開発・実践を通じて、文系・理系を問わず、すべての生徒の理数的素養の向上を図る。

参考　大阪府議会９月定例会での議論及び要望について

○ いちりつ高校から英語科・理数科がなくなることは、地域住民にとって大きな衝撃であり、改編の趣旨が十分に伝わらなければ、単なる少子化に伴う経費削減案と受け取られる懸念がある。地域に対して、両校における改編の趣旨等を丁寧に説明するよう求める。

（教育常任委員会：上田健二議員）

参考

令和８年度実施対象校（案）「統合整備により再編整備する学校」並びに再編整備の対象校の募集停止時期の周知状況及び関係者等からの要望等について

１．周知状況

＜各校から＞

○ 臨時職員会議等で教職員へ説明
○ 全校集会、校内放送、メール等により在校生へ周知
○ 説明文書配付により保護者へ周知
○ ＰＴＡ会長、同窓会長等の学校関係者へ説明

＜教育庁から＞

○ 大阪府内公立中学校長へ説明
○ 府内市教育委員会（対象校所在地）へ説明

２．大阪府議会９月定例会での議論について

■令和８年度実施対象校（案）「統合整備により再編整備する学校」について

○ 時代や社会のニーズの変化に合わせ、府立高校自身も変化していかなければならないというのは理解するが、これまで行われてきた学びが途絶えてしまうようなことはあってはならない。
新校設置と同時に３校が募集停止になることを、教育庁にはしっかりとご認識いただきたい。併せて、在校生たちのケアについてもしっかりと行っていただくように強く要望する（教育常任委員会：大竹いずみ議員）

○ 募集停止がなされる学校や地域にとっては、学校がなくなるという事実は変わらない。さらに今回の対象校は大阪市より移管された学校であり、移管されて間のない統廃合に向けた動きというのは拙速であると指摘する。
時代に応じた、より実践的な学びを展開する新たな商業教育は否定するものではないが、学びの内容もさることながら、地域にある公立の学校として果たしてきた役割というのも、これはしっかりと評価していかなければならない。
募集停止時期を後に公表するという、これまでと異なる手法であることから、対象校の教育がいつまで維持をされるのかなど、不安が生じる。現場の子どもたち、そして教職員、保護者、地域に寄り添った対応を求める。（教育常任委員会：野々上愛議員）

○ 今回の案は単なる学校数の集約ではなく、大阪の商業教育を牽引する新たな中核校を創設する取組みであると前向きに受け止めている。これまで培われてきた商業教育の基礎・基本を継承・発展させ、地域や企業の魅力を次世代へ継承・発展できる人材を育むことを新校設置の根幹に据えていただきたい。あわせて、教育内容はもとより、学校の立地や校地の活用についても十分な検証を行い、生徒が商業高校の枠を超えて多様な経験を積める魅力ある教育の実現に向け、選定を進めていただくよう求める。（教育常任委員会：徳村さとる議員）

○ 今回の案は少子化や教育ニーズの変化に対応し、商業教育を将来にわたり持続的に発展させるための中核校を設置するものと理解。大阪の発展を担う人材の育成に寄与し得る新校に大いに期待している。
大学や企業と連携した価値創造の実践やスモールサイクルの学び、外部連携を担うコーディネーターの配置など、大阪府学校教育審議会からの答申の内容を実践できるよう取り組んでいただきたい。生徒が「ここで学びたい」と思える学校づくりを求める。（教育常任委員会：中谷恭典議員）

3．関係者等からの要望等

○ 大阪の高校を守る会から令和8年 11 月6日に「淀商業・鶴見商業・住吉商業の統廃合反対、『2040 年までに 32 校減』のアクションプラン撤回、『３年連続定員割れで再編整備』の府立学校条例撤廃」署名の提出（計 4,124 筆）

（主な意見）
- 実業系の高校がなくなっていくことで、地域の企業が求める人材が減っていく。
- 府立高校改革アクションプランでは、将来の府立高校数について１学級 40 人として試算しているが、１学級 30 人とすれば学校数は減らさなくてよいはず。
- 府立学校条例が「３年連続定員割れとなれば学校がなくなる」というメッセージになっているのではないか。

議題３（委員会決裁事項（規則第３条第１号））

令和９年度大阪府公立高等学校の募集人員について

標記について、府内公立中学校卒業見込み者数等の動向を踏まえ、別紙のとおり決定する。

ただし、併設型中高一貫校である府立水都国際高等学校及び府立富田林高等学校にあっては、併設中学校からの内部進学者数によって、府立水都国際高等学校においては最大２人、府立富田林高等学校においては最大３人の増員を行うことがある。

令和８年 11 月９日

大阪府教育委員会

＜参考＞

１　令和９年度大阪府公立高等学校入学者選抜方針

令和８年３月 27 日の教育委員会会議で決定した令和９年度大阪府公立高等学校入学者選抜方針において、各高等学校の募集人員は、別に定めることとしたため、今回、付議するもの。

２　昼間の高等学校の総募集人員

(1) 府内公立中学校卒業者数を 64,690 人（前年度比 885 人減）と推計。

(2) 計画進学率 93.9%、他府県等への進学者を 3,290 人（前年度比 10 人減）として、府内進学予定者数を 57,450 人と算出。

（A） 公立中学校 卒業予定者数	（B） 計画進学率	（C）＝（A）×（B） 進学予定者数	（D） 他府県等への 進学予定者数 （実績値の過去５年間の平均値）	（E）＝（C）－（D） 府内 進学予定者数
64,690 人	93.9 %	60,740 人	3,290 人	57,450 人

(3) 公立高等学校の募集人員については、他府県等からの進学者を含めて 34,235 人とし、私立の 25,818 人と合わせて 60,053 人となり、府内進学予定者数（57,450 人）を上回ることを確認。

３　定時制の課程の募集人員

募集人員は、910 人。

（昼夜間単位制の募集人員である 280 人のうち、40 人分を含む。）

４　通信制の課程の募集人員

募集人員は、700 人。

５　当議題が決議された場合の対前年度比較

(1) 昼間の高等学校

・募集人員は、795 人減。

（府立水都国際高等学校及び府立富田林高等学校において増員した５人を除く。）

ア　普通教育を主とする学科で 560 人減。

イ　専門学科で 155 人減。

工業に関する学科	35 人減。
商業科	40 人減。
体育に関する学科	40 人減。
国際文化科	40 人減。

ウ　総合学科で 80 人減。

総合学科	160 人増。
総合学科（クリエイティブスクール）	240 人減。

・知的障がい生徒自立支援コースの募集人員は前年度と同じ 37 人。

(2) 定時制の課程

・募集人員は、昨年度と同じ。

(3)　通信制の課程

・募集人員は、昨年度と同じ。

令和９年度　大阪府公立高等学校募集人員

〔 全 日 制 の 課 程 〕

1　普通教育を主とする学科

(1) 普通科

高等学校名	募集人員	学級数
府立　東淀川	◇280	7
府立　旭	240	6
府立　桜宮	120	3
府立　東	200	5
府立　汎愛	160	4
府立　清水谷	280	7
府立　夕陽丘	280	7
府立　港	280	7
府立　阿倍野	320	8
府立　東住吉	280	7
府立　阪南	280	7
府立　池田	360	9
府立　渋谷	240	6
府立　桜塚	360	9
府立　豊島	280	7
府立　刀根山	360	9
府立　箕面	280	7
府立　茨木西	240	6
府立　北摂つばさ	160	4
府立　吹田	240	6
府立　吹田東	320	8
府立　北千里	320	8
府立　山田	360	9
府立　三島	360	9
府立　高槻北	280	7
府立　芥川	240	6
府立　阿武野	240	6
府立　大冠	280	7
府立　摂津	160	4
府立　寝屋川	320	8
府立　西寝屋川	160	4
府立　北かわち皐が丘	200	5
府立　枚方	240	6
府立　長尾	120	3
府立　牧野	280	7
府立　香里丘	240	6
府立　枚方津田	240	6
府立　いちりつ	200	5
府立　守口東	240	6
府立　野崎	160	4
府立　緑風冠	240	6
府立　交野	240	6
府立　布施	320	8
府立　花園	240	6
府立　みどり清朋	240	6
府立　山本	280	7
府立　八尾	280	7
府立　八尾翠翔	200	5
府立　大塚	160	4
府立　河南	240	6
府立　富田林	○120	3
府立　金剛	240	6
府立　長野	160	4
府立　藤井寺	240	6
府立　登美丘	280	7
府立　泉陽	320	8
府立　金岡	240	6
府立　東百舌鳥	240	6
府立　堺西	240	6
府立　堺上	240	6
府立　泉大津	240	6
府立　信太	240	6
府立　高石	280	7
府立　和泉	240	6
府立　久米田	280	7
府立　佐野	200	5
府立　日根野	240	6
府立　貝塚南	240	6
府立　りんくう翔南	160	4
東大阪市立　日新	160	4

単位制による課程

高等学校名	募集人員	学級数
府立　市岡	280	7
大阪府教育センター附属	240	6
府立　槻の木	240	6
府立　鳳	240	6

(2) 文理探究科

高等学校名	募集人員	学級数
府立　春日丘	320	8
府立　狭山	240	6

(注)　◇には、「日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学者選抜」（以下「日本語指導が必要な生徒選抜」という。）における募集人員を含む。ただし、「日本語指導が必要な生徒選抜」における合格者数については、16名以内とする。
「日本語指導が必要な生徒選抜」実施校にあっては当該選抜の合格者数を募集人員から減じ、一般入学者選抜（以下「一般選抜」という。）における確定募集人員を別途定める。
○の併設型中高一貫校である府立富田林高等学校の募集人員にあっては、併設中学校からの内部進学者数により、最大で３名の増員を行うことがある。

2　農業に関する学科

高等学校名	学科名	募集人員	学級数
府立園芸	フラワーファクトリ	80	2
	環境緑化	40	1
	バイオサイエンス	80	2
	計	200	5
府立農芸	ハイテク農芸	40	1
	資源動物	80	2
	食品加工	80	2
	計	200	5

3　工業に関する学科

高等学校名	学科（専科）名等		募集人員	学級数
府立東淀工業	機械工学		70	2
	電気工学		35	1
	理工学		35	1
	計		140	4
府立淀川工科	機械系	機械技術	※175	☆1
		機械設計		
	電気系	電気技術		☆2
		電子情報通信		
	メカトロニクス系	電子機械		☆2
	工学系	大学進学	35	1
	計		210	6
府立都島工業	機械		※70	2
	機械電気			
	電気電子工学		70	2
	建築		※105	3
	都市工学			
	理数工学		35	1
	計		280	8
府立泉尾工業	機械		35	1
	電気		35	1
	工業化学		◎35	1
	セラミック			
	ファッション工学		35	1
	計		140	4
府立今宮工科	機械系	機械技術	※210	☆2
		生産技術		
	電気系	電気技術		☆2
		電子制御		
	建築系	建築		☆1
	デザイン系	コミュニケーションデザイン		☆1
	工学系	大学進学	35	1
	計		245	7
府立工芸	建築デザイン		40	1
	インテリアデザイン		40	1
	ビジュアルデザイン		40	1
	映像デザイン		40	1
	プロダクトデザイン		40	1
	計		200	5
府立茨木工科	機械系	機械技術	※105	☆1
		生産技術		
	電気系	電気技術		☆1
		電子情報通信		
	環境化学システム系	環境システム		☆1
		化学システム		
	工学系	大学進学	35	1
	計		140	4
府立東大阪みらい工科	機械工学系	マシンコントロール	※210	☆2
		メカニクステクノ		
	電気情報工学系	エレクトロニクス		☆2
		ＩＣＴネットワーク		
	都市住宅系	アーキテクト		☆2
		インフラ		
	工学系	大学進学	35	1
	計		245	7
府立藤井寺工科	機械系	機械技術	※175	☆2
		機械設計		
	電気系	電気技術		☆2
		電子情報通信		
	メカトロニクス系	ロボット工学		☆1
		制御システム		
	計		175	5
府立堺工科	機械系	機械技術	※175	☆2
		機械制御		
	電気系	電気技術		☆2
		電子制御		
	環境化学システム系	化学分析技術		☆1
		環境システム		
	工学系	大学進学	35	1
	計		210	6
府立佐野工科	機械系	機械技術	※210	☆3
		機械設計		
	電気系	電気技術		☆2
		電子制御		
	産業創造系	製品開発		☆1
		テキスタイルデザイン		
	計		210	6
堺市立堺	機械材料創造		80	2
	建築インテリア創造		40	1
	計		120	3
岸和田市立産業	デザインシステム		40	1

（注）※は、総合募集。
◎は、くくり募集。
☆は、２年次の選択によって編制される系の学級数。

4　商業に関する学科

(1) 商業科

高等学校名	学科名	募集人員	学級数
府立淀商業	商業	160	4
府立鶴見商業	商業	160	4
府立住吉商業	商業	120	3
東大阪市立日新	商業	40	1
岸和田市立産業	商業	160	4
	情報	80	2
	計	240	6

(2) マネジメント創造科

高等学校名	学科名	募集人員	学級数
堺市立堺	マネジメント創造	80	2

5　グローバルビジネス科

高等学校名	学科名	募集人員	学級数
府立大阪ビジネスフロンティア	グローバルビジネス	240	6

6　食物文化科

高等学校名	学科名	募集人員	学級数
府立　咲くやこの花	食物文化	40	1

7　福祉ボランティア科

高等学校名	学科名	募集人員	学級数
府立　淀商業	福祉ボランティア	40	1

8　理数科

高等学校名	学科名	募集人員	学級数
府立　東	理数	80	2
府立　いちりつ	理数	40	1

9　総合科学科

高等学校名	学科名	募集人員	学級数
府立　住吉	総合科学	160	4
府立　千里	総合科学	160	4
府立　泉北	総合科学	120	3

(注) 募集人員には、「海外から帰国した生徒の入学者選抜」（以下「帰国生選抜」という。）における募集人員を含む。ただし、「帰国生選抜」における合格者数については、総合科学科及び国際文化科の両学科あわせて、各校８名以内とする。

「帰国生選抜」の合格者数を募集人員から減じ、一般選抜における確定募集人員を別途定める。

10　サイエンス創造科

高等学校名	学科名	募集人員	学級数
堺市立　堺	サイエンス創造	40	1

11　総合造形科

高等学校名	学科名	募集人員	学級数
府立　港南造形	総合造形	200	5

12　美術科

高等学校名	学科名	募集人員	学級数
府立　工芸	美術	40	1

13　音楽科

高等学校名	学科名	募集人員	学級数
府立　夕陽丘	音楽	40	1

14　体育に関する学科

高等学校名	学科名	募集人員	学級数
府立　桜宮	人間スポーツ科学	120	3
府立　汎愛	体育	80	2
府立　摂津	体育	80	2
府立　大塚	体育	80	2

15　英語科

高等学校名	学科名	募集人員	学級数
府立　東	英語	40	1
府立　いちりつ	英語	40	1
東大阪市立　日新	英語	40	1

(注) 募集人員には、「帰国生選抜」における募集人員を含む。ただし、「帰国生選抜」における合格者数については、各校４名以内とする。

「帰国生選抜」の合格者数を募集人員から減じ、一般選抜における確定募集人員を別途定める。

16　国際文化科

高等学校名	学科名	募集人員	学級数
府立　旭	国際文化	80	2
府立　枚方	国際文化	80	2
府立　花園	国際文化	80	2
府立　長野	国際文化	40	1
府立　佐野	国際文化	80	2
府立　住吉	国際文化	160	4
府立　千里	国際文化	160	4
府立　泉北	国際文化	160	4

(注)募集人員には、「帰国生選抜」における募集人員を含む。ただし、「帰国生選抜」における合格者数については、府立旭高等学校、府立枚方高等学校、府立花園高等学校、府立長野高等学校及び府立佐野高等学校は各校８名以内、府立住吉高等学校、府立千里高等学校及び府立泉北高等学校は総合科学科及び国際文化科の両学科あわせて、各校８名以内とする。

「帰国生選抜」の合格者数を募集人員から減じ、一般選抜における確定募集人員を別途定める。

17　グローバル科

高等学校名	学科名	募集人員	学級数
府立　箕面	グローバル	80	2
府立　和泉	グローバル	80	2

(注)募集人員には、「帰国生選抜」における募集人員を含む。ただし、「帰国生選抜」における合格者数については、各校８名以内とする。

「帰国生選抜」の合格者数を募集人員から減じ、一般選抜における確定募集人員を別途定める。

18　グローバル探究科

高等学校名	学科名	募集人員	学級数
府立　水都国際	グローバル探究	80	2

(注)募集人員には、「帰国生選抜」における募集人員を含む。ただし、「帰国生選抜」における合格者数については、８名以内とする。なお、特別入学者選抜（以下「特別選抜」という。）における合格者数が募集人員を満たしていない場合は、「帰国生選抜」の受験者から募集人員を満たすように合格者を決定する。

併設型中高一貫校である府立水都国際高等学校の募集人員にあっては、併設中学校からの内部進学者数により、最大で２名の増員を行うことがある。

19　演劇科

高等学校名	学科名	募集人員	学級数
府立　咲くやこの花	演劇	40	1

20　芸能文化科

高等学校名	学科名	募集人員	学級数
府立　東住吉	芸能文化	40	1

21　文理学科

高等学校名	学科名	募集人員	学級数
府立　北野	文理学	320	8
府立　大手前	文理学	360	9
府立　高津	文理学	360	9
府立　天王寺	文理学	360	9
府立　豊中	文理学	360	9
府立　茨木	文理学	360	9
府立　四條畷	文理学	360	9
府立　生野	文理学	360	9
府立　三国丘	文理学	320	8
府立　岸和田	文理学	320	8

22　教育文理学科

高等学校名	学科名	募集人員	学級数
府立　桜和	教育文理学	240	6

23　総合学科（エンパワメントスクール及びステップスクールを除く。）

高等学校名	学科名	募集人員	学級数
府立　豊中能勢分校	総合学	70	2
府立　柴島	総合学	240	6
府立　咲くやこの花	総合学	80	2
府立　今宮	総合学	240	6
府立　東住吉総合	総合学	240	6
府立　千里青雲	総合学	240	6
府立　福井	総合学	◇160	4
府立　枚方なぎさ	総合学	240	6
府立　芦間	総合学	240	6
府立　門真なみはや	総合学	◇240	6
府立　枚岡樟風	総合学	120	3
府立　八尾北	総合学	◇240	6
府立　松原	総合学	200	5
府立　堺東	総合学	240	6
府立　成美	総合学	◇160	4
府立　伯太	総合学	240	6
府立　貝塚	総合学	240	6

（注）◇には、「日本語指導が必要な生徒選抜」における募集人員を含む。ただし、「日本語指導が必要な生徒選抜」の合格者数については、各校16名以内とする。
　「日本語指導が必要な生徒選抜」の合格者数を募集人員から減じ、一般選抜における確定募集人員を別途定める。

24　総合学科（エンパワメントスクール）

高等学校名	学科名	募集人員
府立　淀川清流	総合学	175
府立　成城	総合学	210
府立　長吉	総合学	◇210
府立　箕面東	総合学	140
府立　布施北	総合学	◇210
府立　和泉総合	総合学	210

（注）◇には、「日本語指導が必要な生徒選抜」における募集人員を含む。ただし、「日本語指導が必要な生徒選抜」の合格者数については、各校16名以内とする。なお、特別選抜の合格者数が募集人員を満たしていない高等学校においては、「日本語指導が必要な生徒選抜」の受験者から募集人員を満たすように合格者を決定する。

25　総合学科（ステップスクール）

高等学校名	学科名	募集人員
府立　西成	総合学	150
府立　岬	総合学	150

（注）ステップスクールにおいては、実施要項に基づき群単位で合格者を決定するため、合格者数が募集人員を超過することがある。このとき、増員可能数については、各校25名以内とする。

26　知的障がい生徒自立支援コース

高等学校名	学科名	募集人員
府立　桜宮	普通	3
府立　阿武野	普通	3
府立　八尾翠翔	普通	3
府立　園芸	フラワーファクトリ・環境緑化・バイオサイエンス	※4
府立　東淀工業	機械工学・電気工学・理工学	※3
府立　柴島	総合学	3
府立　枚方なぎさ	総合学	4
府立　松原	総合学	4
府立　堺東	総合学	3
府立　貝塚	総合学	4
府立　西成	総合学（ステップスクール）	3

（注）※は、総合募集。

〔 多部制単位制Ⅰ・Ⅱ部（クリエイティブスクール）〕

（注）［ ］内は、編転入学による受入れ生徒の人数である。

多部制単位制Ⅰ・Ⅱ部（クリエイティブスクール）

高等学校名	学科名	部別	募集人員	計
府立　大阪わかば	普通	Ⅰ部	◇90　［50］	140
		Ⅱ部	45　［10］	55

（注）◇には、「日本語指導が必要な生徒選抜」における募集人員を含む。ただし、「日本語指導が必要な生徒選抜」の合格者数については、20名以内とする。なお、特別選抜の合格者数が募集人員を満たしていない場合は、「日本語指導が必要な生徒選抜」の受験者から募集人員を満たすように合格者を決定する。

〔 昼 夜 間 単 位 制 〕

（注）［ ］内は、編転入学による受入れ生徒の人数である。

昼夜間単位制

高等学校名	学科名	募集人員	計
府立　中　央	普　通	160　［40］	280
	ビジネス	80	

〔 定 時 制 の 課 程 〕

（注）＊は、単位制

1　普通科

高等学校名	学科名	募集人員	計
＊府立大手前	普通	40	40
＊府立桃谷	普通	50 ［30］	80
＊府立桜塚	普通	80	80
＊府立春日丘	普通	40	40
＊府立寝屋川	普通	80	80
＊府立布施	普通	40	40
＊府立三国丘	普通	40	40

（注）府立桃谷高等学校の［ ］内は、編転入学による受入れ生徒の人数である。

2　工業に関する学科

高等学校名	学科名	募集人員	計
堺市立堺	機械自動車創造 建築創造	※35	35

（注）※は、総合募集。

3　商業に関する学科

(1) 商業科

高等学校名	学科名	募集人員	計
岸和田市立産業	商業	40	40

(2) マネジメント創造科

高等学校名	学科名	募集人員	計
堺市立堺	マネジメント創造	35	35

4　総合学科

高等学校名	学科名	募集人員	計
＊府立都島工業	総合学	40	40
＊府立今宮工科	総合学	40	40
＊府立工芸	総合学	40	40
＊府立茨木工科	総合学	40	40
＊府立藤井寺工科	総合学	40	40
＊府立堺工科	総合学	40	40
＊府立佐野工科	総合学	40	40
＊府立成城	総合学	40	40
＊府立和泉総合	総合学	40	40

〔 通 信 制 の 課 程 〕

（注）［ ］内は、編転入学による受入れ生徒の人数である。

高等学校名	部別	学科名等	募集人員	計
府立桃谷	昼間部	普通〔単位制〕	◎380 ［320］	700
	日・夜間部	普通〔単位制〕		

（注）◎は、くくり募集。

令和８年 10 月 27 日　大阪府公私立高等学校連絡協議会資料より

資料１

令和９年度入学者選抜における公立・私立高校の募集人員について

■令和９年度　公立・私立高校の募集人員（昼間の高等学校）

公立高校、私立高校の募集人員

公立　　34,235 人※

私立　　25,818 人

合計　　60,053 人　＞（府内進学予定者数　57,450 人）

注　募集人員及び府内進学予定者数は、併設中学校からの内部進学者数を除く。
※　併設中学校における内部進学予定者数により最大で５人の増員を行うことがある。

上記のとおり、令和９年度入学者選抜における公私トータルの募集人員は、府内公立中学校卒業者の府内進学予定者数を上回っていることを確認する。

（参考：平成 22 年 11 月 10 日　公私協本会議の確認事項）

○　平成 23 年度は流動化の規模が予測困難なため、公立、私立がこれまでの７：３をベースにしつつ、それぞれ募集人員を設定した上で、計画進学率等から算出された府内進学予定者数がすべて受入れ可能であることを確認する。
○　平成 24 年度以降についても、就学セーフティネットの観点から、公私トータルで高校進学予定者数を上回る募集人数が確保されていることを確認していくものとする。

資料２

昼間の高等学校（全日制の課程及び多部制単位制Ⅰ・Ⅱ部並びに昼夜間単位制）学科別募集人員増減数及び学校名

○　全日制の課程（工業に関する学科を除く。）

学科名		増やす人員（学級数）	減らす人員（学級数）	学校数	合計人員（合計学級数）	学　　校　　名
普通教育を主とする学科	普通科（単位制を含む。）	―	40 人（１学級）	５校	560 人（14 学級）の減	北摂つばさ、芥川、北かわち皐が丘、長尾、河南
			80 人（２学級）	１校		西寝屋川
			120 人（３学級）	１校		懐風館
			160 人（４学級）	１校		門真西
専門学科	商業科	―	40 人（１学級）	１校	120 人（３学級）の減	住吉商業
	体育に関する学科	―	40 人（１学級）	１校		汎愛
	国際文化科	―	40 人（１学級）	１校		長野
	文理学科	40 人（１学級）	―	１校		茨木
		―	40 人（１学級）	１校		北野
総合学科		―	40 人（１学級）	２校	160 人（４学級）の増	枚岡樟風、松原
		240 人（６学級）	―	１校		東住吉総合
総合学科（クリエイティブスクール）		―	240 人（６学級）	１校	240 人（６学級）の減	東住吉総合
合　　計					760 人（19 学級）の減	

○　全日制の課程（工業に関する学科）

学科名	増やす人員	減らす人員	学校数	合計人員	学　　校　　名
総合募集の専科	―	35 人	１校	35 人の減	堺工科
合　　計				35 人の減	

【総計】

増やす人員	減らす人員	総　　計
280 人	1075 人	795 人の減

議題４　（委員会決裁事項（規則第３条第１号））

令和９年度大阪府立知的障がい高等支援学校職業学科（本校）及び大阪府立高等学校に設置する共生推進教室の募集人員について

標記について、次のとおり決定する。

１　大阪府立知的障がい高等支援学校職業学科（本校）

府　立　学　校　名	学　　科　　名	募集人員	学級数
たまがわ高等支援学校	ものづくり科	*64	8
	福祉・園芸科		
	流通サービス科		
とりかい高等支援学校	生産技術科	*32	4
	食とみどり科		
	生活科学科		
すながわ高等支援学校	ものづくり科	*32	4
	食とみどり科		
	せいかつサービス科		
むらの高等支援学校	プロダクトデザイン科	*32	4
	フードデザイン科		
	リビングデザイン科		
なにわ高等支援学校	クリエイティブワーク科	*48	6
	サービス・ビジネス科		
	ライフサービス科		

（注）＊は総合募集

２　大阪府立高等学校に設置する共生推進教室

設　置　府　立　学　校　名	募集人員	学級数	本校
金剛高等学校	3	1	たまがわ
枚岡樟風高等学校	3	1	
北摂つばさ高等学校	3	1	とりかい
千里青雲高等学校	3	1	
信太高等学校	3	1	すながわ
久米田高等学校	3	1	
緑風冠高等学校	3	1	むらの
芦間高等学校	3	1	
東住吉高等学校	3	1	なにわ
今宮高等学校	3	1	

令和８年 11 月９日

大阪府教育委員会

＜参考＞

令和９年度大阪府立知的障がい高等支援学校職業学科入学者選抜方針

第１　全般的な事項

Ⅲ　募集人員・通学区域

１　各知的障がい高等支援学校職業学科（本校）及び各共生推進教室の募集人員は、大阪府教育委員会が別に定める。